

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは2021年9月をもって第126期第2四半期を終了いたしましたので、連結決算概況についてご報告申し上げ、ご理解賜りたいと存じます。



2021年12月 代表取締役社長 **佐口 敏 康**

### ■ グンゼにしかできない「こちよさ」をお客さまに提供し続け、「社会貢献」に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う緊急事態宣言等の影響により、個人消費や企業活動が制限され厳しい状況で推移しました。ワクチン接種の進展により経済活動の正常化が期待されるものの、引き続き感染再拡大が懸念され、原油価格高騰やサプライチェーンの混乱による物価上昇など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」の最終年度（新型コロナウイルスの世界的感染拡大が、当社グループに大きな影響を及ぼしたことから、最終年度を1年間延長しております。）にあたり、『集中と結集』をキーコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」

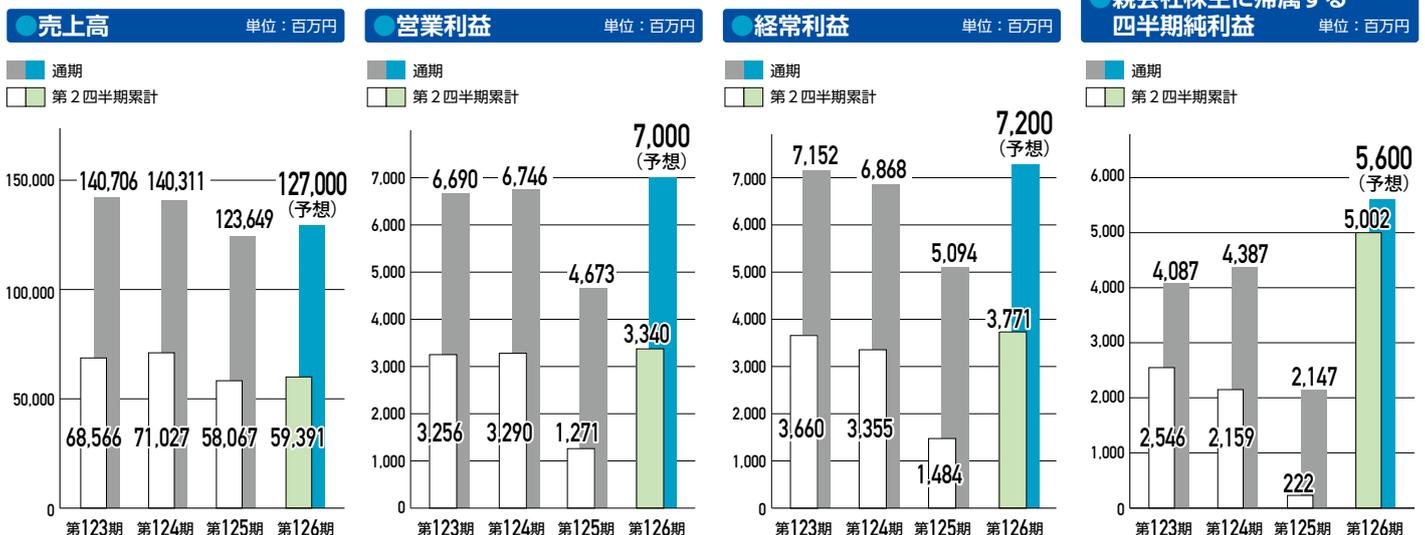
の3つの基本戦略への取り組みを進めました。

新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、機能ソリューション事業は、各分野において回復基調となりました。アパレル事業は、緊急事態宣言再発令などによる店舗販売の低迷をカバーできませんでした。また、ライフクリエイティブ事業は、ショッピングセンターやスポーツクラブの臨時休業や時短営業の影響を受けました。

不透明な状況はまだ続きますが、当社はこれからも「お客さまに“こちよさ”をお届けしていく」という強い意志を持ち、社会に貢献する企業を目指してまいります。

株主の皆さまには、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

### ■ 決算ハイライト



## 連結業績のご報告

### 連結貸借対照表(概要)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2020年9月30日現在	2021年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	72,414	79,917
固定資産	88,698	80,183
有形固定資産	66,956	60,030
無形固定資産	1,626	1,430
投資その他資産	20,115	18,721
<b>資産合計</b>	<b>161,113</b>	<b>160,100</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	34,744	30,694
固定負債	16,536	12,840
<b>負債合計</b>	<b>51,280</b>	<b>43,534</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	108,734	111,811
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,697	6,677
利益剰余金	82,532	87,495
自己株式	△ 6,566	△ 8,433
その他の包括利益累計額合計	△ 457	2,867
新株予約権	187	158
非支配株主持分	1,368	1,727
<b>純資産合計</b>	<b>109,832</b>	<b>116,565</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>161,113</b>	<b>160,100</b>

#### 流動資産 前年同期比75億円増加

現金及び預金65億円の増加、短期債権及び未収入金等その他11億円の増加などにより、全体では75億円の増加となりました。

#### 固定資産 前年同期比85億円減少

建物及び構築物(純額)51億円の減少、機械装置及び運搬具(純額)7億円の減少、土地14億円の減少、繰延税金資産等その他11億円の減少などにより、全体では85億円の減少となりました。

#### 流動負債 前年同期比40億円減少

コマーシャルペーパーを含む借入金68億円の減少、支払手形及び買掛金10億円の増加、未払法人税等19億円の増加などにより、全体では40億円の減少となりました。

#### 固定負債 前年同期比36億円減少

借入金15億円の減少、退職給付に係る負債17億円の減少、長期預り敷金保証金3億円の減少などにより、全体では36億円の減少となりました。

#### 純資産 前年同期比67億円増加

親会社株主に帰属する純利益の計上69億円、その他有価証券評価差額金12億円の増加、為替換算調整勘定11億円の増加、退職給付に係る調整累計額9億円の増加、配当金の支払20億円、自己株式の取得18億円などにより、全体では67億円の増加となりました。

### 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2021年4月1日から 2021年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>58,067</b>	<b>59,391</b>
<b>売上総利益</b>	<b>17,687</b>	<b>19,329</b>
販売費及び一般管理費	16,415	15,988
<b>営業利益</b>	<b>1,271</b>	<b>3,340</b>
営業外損益	212	430
<b>経常利益</b>	<b>1,484</b>	<b>3,771</b>
特別損益	△ 1,021	3,626
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>462</b>	<b>7,397</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>222</b>	<b>5,002</b>

#### 売上高 593億円

機能ソリューション事業で266億円(前年同期236億円)、アパレル事業で274億円(前年同期292億円)、ライフクリエイティブ事業で55億円(前年同期54億円)となり、全体では593億円となりました。

#### 営業利益 33億円

機能ソリューション事業で38億円(前年同期19億円)、アパレル事業で7億円(前年同期6億円)、ライフクリエイティブ事業で1億円(前年同期1億円)となり、全体では33億円となりました。

(注1) 各セグメントの合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値であり、全体の合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整した数字となっております。

(注2) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。なお、収益認識会計基準等の適用により、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,810百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

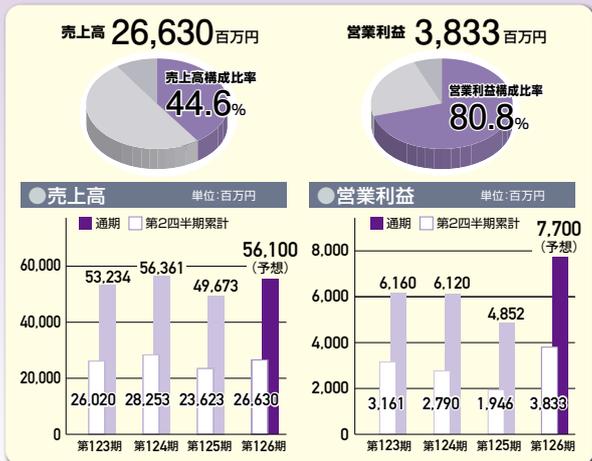
科目	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	145	3,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,220	7,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,499	△ 6,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 32	402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,166	4,469
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	456
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,101	14,643

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー 前年同期比32億円増加

税金等調整前四半期純利益73億円、減価償却費30億円、売上債権の減少21億円、固定資産除売却損益43億円、棚卸資産の増加35億円、投資有価証券売却及び評価損益6億円、法人税等の支払額又は還付額5億円などにより34億円の収入となり、前年同期比32億円の増加となりました。

## セグメント状況

### 機能ソリューション事業



(注1) セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。  
 (注2) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は310百万円減少し、営業利益は19百万円減少しております。

プラスチックフィルム分野は、包装用フィルムの巣ごもり需要継続に加え、輸出・工業用フィルムが堅調に推移しました。エンジニアリングプラスチック分野は、半導体市場向け製品とオフィス関連向けOA製品の回復に支えられ好調に推移しました。電子部品分野は、世界的な半導体不足に伴い部材調達に難航した上、受注済案件の後ろ倒し影響もあり回復が遅れました。メディカル分野は、国内、欧州で新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、中国市場の伸長により好調に推移しました。

#### 〈プラスチックフィルム分野〉



食品などの包装に使われているOPPフィルム

#### 〈エンジニアリングプラスチック分野〉



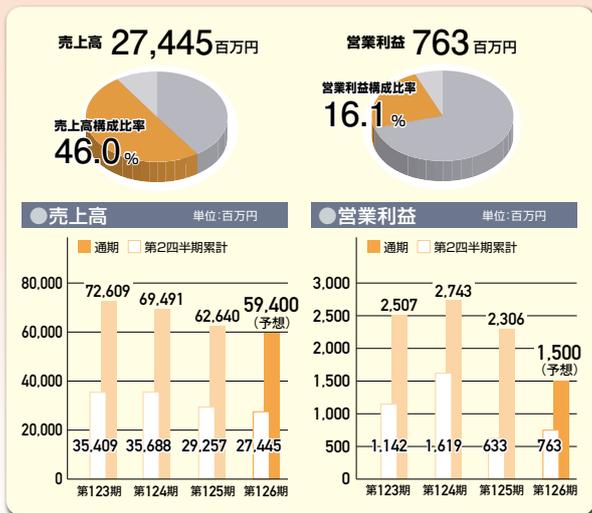
フッ素樹脂の糸を使用したメッシュ

#### 〈メディカル分野〉



全層皮膚欠損創に使用することで真皮様組織を形成し再建・治癒を促進する人工皮膚

### アパレル事業



(注1) セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。  
 (注2) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は1,409百万円減少し、営業利益は17百万円増加しております。

アパレル事業全体では、緊急事態宣言に伴う市況低迷や夏期の天候不順などにより、店頭販売に影響を受けましたが、EC、通販チャンネルは好調に推移しました。インナーウェア分野は、接着技術を用いたカップ付きインナーなど差異化ファンデーションを中心にレディス商品が伸長しました。レッグウェア分野は、緊急事態宣言再発令などによる外出・イベント自粛により、ストックの着用機会が大幅に減少したため、工場稼働停止による生産調整を実施しました。

#### 〈インナーウェア分野〉



スタイルも気分もアガるブーストボックスー [BODY WILD EZX]

#### 〈レッグウェア分野〉



オーガニックコットンを採用した「Fitte」



デザインで魅せるファッションレギンス「Tuché」

### ライフクリエイティブ事業



(注1) セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。  
 (注2) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は90百万円減少し、営業利益は1百万円増加しております。

不動産関連分野は、賃貸事業は堅調に推移しましたが、ショッピングセンター事業では、緊急事態宣言による時短営業やイベント中止が続き、集客に影響を受けました。スポーツクラブ分野は、緊急事態宣言再発令および自治体からの要請に伴う臨時休館・営業時間短縮等の影響を受けました。

#### 〈不動産関連分野〉



グンゼタウンセンター つかしん (兵庫県尼崎市)



グレースタウン江南 (愛知県江南市)

# 株主優待について

9月末 / 中間期のみ

保有株数と保有年数に応じた優待額を付与、優待額の範囲内でご希望の優待サービスと交換等いただけます。

## クーポン

グンゼ公式通販【グンゼストア】でのお買物の際にご利用いただけるクーポンを発行

## 贈呈品

優待額の範囲内で好きな製品と交換

## 寄付

優待額1,000円を1口として、子供の未来応援基金へ寄付

年2回 毎年9月末・3月末

さらに **30%** 割引優待

通販カタログ「セlestail」で割引優待にてご購入いただけます

※カタログはイメージです



保有株数	株式保有年数		
	3年未満	3年以上5年未満	5年以上
100~299株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
300株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

※2021年度中間期の株主優待は2021年9月30日を基準とした保有株数と保有年数に基づき実施いたします。  
 ※保有年数は、毎年9月末日を基準日とし、同一株主番号で継続して株主名簿に記録されている年数です。  
 (当社株式をすべて売却した後に、再度当社株式を購入された場合は、継続保有となりません。)

## 株式の状況 (2021年9月30日現在)

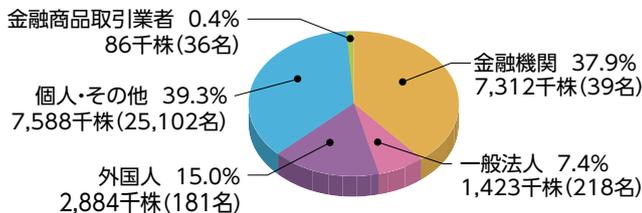
発行済株式の総数 ..... 19,293,516株

◎自己株式 (2021年4月1日から2021年9月30日)

取得 359千株 (1,585百万円)  
 処分 13千株 (56百万円)  
 期末 1,951千株 (8,433百万円)

◎単元株式数 : 100株

株主数 ..... 25,576名



(注)円グラフは発行済株式数に対する保有割合

大株主一覧 (上位10名の株主)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行	2,710	15.63
日本スタートラスト信託銀行株式会社	1,830	10.56
株式会社三菱UFJ銀行	594	3.43
株式会社京都銀行	587	3.39
全国共済農業協同組合連合会	451	2.60
グンゼグループ従業員持株会	410	2.37
第一生命保険株式会社	324	1.87
株式会社GSIクレオス	271	1.56
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	258	1.49
JP MORGAN CHASE BANK 385781	199	1.15

(注)当社は、自己株式1,951千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 会社の概況 (2021年9月30日現在)

社名 グンゼ株式会社  
 設立年月日 1896年8月10日  
 資本金 26,071百万円  
 従業員 1,728名(単体) 5,743名(連結)  
 本店 京都府綾部市青野町膳所1番地  
 大阪本社 大阪市北区梅田二丁目5番25号 (ハービスOSAKAオフィスタワー)  
 TEL(06)6348-1313  
 東京支社 東京都中央区日本橋二丁目10番4号  
 TEL(03)3276-8710

※取締役、監査役、執行役員などの変更はございません。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 6月下旬  
 株主総会・期末配当基準日 3月31日  
 公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
 上場取引所 東京(第1部)  
 証券コード 3002  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 同連絡先 〒541-8502  
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 TEL: 0120-094-777(通話料無料)

GUNZE

ホームページはこちらから

グンゼ

検索

